

●講演会司会者用：講師プロフィール

*以下は、主催団体からのご要望により作成した一例ですので、ご自由にアレンジしていただいてOKです。

(ここから)

作家 兼 第二創業支援コンサルタント 兼 APRA (エープラ) 議長 としてご活躍の、角田 識之 (すみだのりゆき) 先生のご紹介をさせていただきます。通常、臥龍 (がりゅう) さんと呼ばれていますので、ここでも臥龍さんと呼ばさせていただきます。

臥龍さんは、「坂の上の雲」の舞台となった愛媛県・松山市にお生まれになり、23歳の時に「竜馬がゆく」を読み感銘。坂本龍馬が亡くなった33歳で、使命感を「世界の海援隊」とした企業を設立することを「志」とされます。その後、大手コンサルティング会社で経営コンサルタントの経験を積み、1989年に(株)ハイネットを設立。大構造改革期と言う環境変化の中、経営の根幹を成す志と理念の刷新、お客様感動と従業員感動を共に育む「感動経営」の導入により、数々の「第二創業の実現」を指導され、大好評を博されてきました。設立から20年の節目となる2010年に、社業を、第二創業支援コンサルティングを主体とする(株)角田識之事務所～通称: オフィス臥龍～と、企業のネット活用と現場力向上支援を主体とする(株)感動マーケティングに分離され、両社の代表として、より一層「第二創業の伝説企業」育成に邁進されています。

また35歳のときに講演で訪れた台湾で、資本主義にも「拝金主義」サイドと「人本主義」サイドがあることに気付き、修正資本主義としての「人の幸福を第一義とする: 人本主義」の確立を提唱され始めます。「人本主義思想」による「感動創造経営」や「大家族主義経営」を研究・実践するために、「和人・和僑 (わきょう)」と「華人・華僑」が連携する「APRA (エープラ)」という非営利団体を設立され、日本全国そしてアジア太平洋各国を東奔西走されています。近年は、職場に起こった「感動実話」を共有する「感動物語コンテスト (通称: カンコン)」も話題となっています。別名、「感動経営の伝道師」。

著書には、感動経営の基本編としての「生涯顧客が生まれる101のマジック」や「人にやさしい会社がまわりを幸せにする」、経営者の人生が進化する気付きとなる「覚悟～二代目社長が本気のスイッチを入れるとき～」、職場感動のエピソードをまとめた「12の奇跡」などがあります。また経営者向けの日刊無料メルマガ「社長のビタミン・一日一語」の読者は一万名を超えています。

本日は、「〇〇〇〇」と題し、混迷の時代に生きる勇気と知恵を伝授いただきます。では、皆さま、臥龍先生を拍手でお迎えください。

(ここまで)